

## 【優秀賞】

### 【「水は限りあるもの」】

名古屋市立昭和橋中学校 二年 森下 玲奈

みなさんは、私たちの身近にある「水」とは、どのようなものだと考えていますか？生きるために必要なもの、生活では欠かせないものという答えが多いと思います。ですがもし、その“あたりまえ”がなくなつたら…？世界中で今、「地球は水不足だ」と言われています。そして、地球から水がなくなると、生き物が絶滅したり、植物が育たなくなつたりなど、様々な影響を受けて、地球は滅んでしまうでしょう。それを防ぐため、私は、現在問題視されている水不足の原因について調べてみました。

調べていく中で、気になった原因は三つあります。一つ目は、人口の増加です。国土交通省による、世界の総人口は、二〇一五年から二〇五〇年にかけて、約七十三億人から九十七億人まで増加するといわれています。そして、人が一日に使用する水の量は、平均で二百二十一リットルだそうです。人口が増えれば増えるほど、水の使用量も増え、水だけ減つっていく一方です。そうなると、蛇口から水が出るのは、日常の光景ではなくなってしまうでしょう。

二つ目は、水を有効的に活用できていないことです。たとえば、節水意識がたりてないなど、水を無駄遣いしています。そのため、いくら水があつても、本当に水が必要なところへ行き届かないのです。現状では、地球温暖化や大気汚染、酸性雨などの気候変動も、私たちの水源を汚染しています。これは、SDGs目標十三の「気候変動に具体的な対策」にも関係し、これからの未来のために、考えなければならないことです。

そして、三つ目は、水源の破壊です。都市を開発することは森林を破壊することと同義です。その結果、森林が減少していき、水源がなくなるつています。都市開発にも発展のためには大切なことですが、このように、森林が減少し、水源がなくなるという結果になると、水にとつては

デメリットのほうが大きいのではないかと思いました。理想は、森林を守りながら発展するべきだと言えます。

もちろん、水不足の原因はこれだけではありません。災害などの予測不可能なことは、対応しきれません。例えば、最近起つた、「埼玉県八潮市道路陥没事故」では予測不可能でした。

陥没事故。道路に大きな穴があき、トラック一台が転落しました。なぜ、このような事故がおこつたか気になり調べると、なんと、下水道管の破損でした。原因は、水道管の老朽化だそうです。そして、事故で水道が使えなくなってしまったことにより、近隣の方々は「何日もお風呂にはいっていいない」や、「水が使えないと不便」などとインタビューで答えていました。水がないと毎日不便であり、不安であると改めて思うことができました。

私ははじめ、「みなさんは、私たちの身近にある「水」とは、どのようなものだと考えていますか？」と質問しました。水不足という今を知つたことで、あなたの“あたりまえ”を打ち壊し、“水は限りあるもの”ということをわかつてもらえるとうれしいです。そして、水不足の問題が解決するよう、今の私たちにできることを探してみましょう。私は、水の利用法をもう一度家族と考え直し、節水意識を高めていきたいです。私たちにできることはたくさんあると思いますが、それをすべて実行することは難しいです。なので、地球上にいる全員でこの問題を解決しようと努力すべきだと良いと思います。そのためには、まず水のありがたみを感じることが必要です。私たち一人一人が、水に対する意識を向上させることで、「水」を守ることにつながつていくのだと思いました。もし、水不足がなくなれば、未来は今よりも、もっと明るくなつてていることでしょう。